

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

雨上がりの朝、ぼくはポケットのメモをなぞった。今日の約束は三つ。

- ① 図書委員で掲示を張り替える（ミニミと）。
- ② 理科の虫めがねを片づける。
- ③ 放課後、祖母にノートを届ける。

「どれもすぐ」と軽く考えた。

昼休み、虫めがねを拭くとレンズがぴかっと光り、つい夢中になる。気づけばチャイム後十分。図書室へ走ると、入口でミニミが腕を組んでいた。

「遅いよ。二人じゃないと曲がるんだよ」

角を合わせて貼るたび紙はぴたっと決まるのに、胸はちくりとした。ぼくの「すぐ」が、相手の時間をけずっていたのだ。

放課後、ミニミが言う。「明日も四時に来られる?」その瞬間、祖母へ「四時すぎに行く」と言っていたことを思い出す。頭の中でちかりと予定がぶつかった。職員室前で先生が砂時計を逆さにし、砂がさらさら落ちる。

「約束は言葉と時間でできている。軽いのは言葉、重いのは相手の中の時間だよ」

ぼくはミニミに向き直った。

「さっき『四時』と言ったけど、祖母のところがある。四時半でもいい?」

「最初に言ってくれてよかった。その間、カウンタ―手伝うね」

肩がふつと軽くなった。ぼくはすぐに祖母へ電話をかけ、「四時半に着くね」と伝えた。受話器の向こうで「わかったよ」と笑い声がして、胸の中の砂がすうつとおりていくみたいに落ちついた。

祖母の家に着くと四時十五分。

「少し早めにお茶を用意して待ってたのよ」

ぼくはメモに書き足す。『誰と・何を・何時に・どれくらい／変わったら先に伝える』。ついでに、学校と家の移動時間も小さくメモした。時間も荷物と同じで、重さを見えるようにしておく、持ちすぎ

ないでいられる。

四時半、図書室。まず終わりの時刻を決める。「五時まで」。役割を分け、空気を抜きながら貼ると、台紙がすうつと平らになった。

「時間を先に決めると、焦らないね」

「うん。『すぐ』は人によってちがうんだ」

最後の一枚をすつと貼ったとき、二人の時計の針が同じところをぴたりと指しているのが見えた気がした。図書室へ向かう廊下の窓には夕陽が細長ののび、足音が掲示板までとんと続いていく。

帰り道、先生の言葉を思い出す。

言葉は軽い。けれど、その言葉が乗る、相手の時間^は重い。

だから約束は、相手の時間を想像し、無理だと分かったら早く伝える。言いにくい一言でも、早いほどやさしい。それで、二人で持てるちょうどいい重さになる。電線のしずくがきらりと光り、胸の中のリュックがすつと軽くなった気がした。

夜、家で今日のことを話すと、母さんは「相手の立場を先に思い浮かべるの、いいね」と言った。父さんはカレンダーを指して、

「約束に小さな砂時計マークをつけてごらん。自分の時間だけじゃなく、相手の時間も見えるようになるよ」

と付け加えた。ぼくは机の端に小さな付せんを貼る。

「迷ったら、まず連絡。」

時間を決めて『うん』と言う。

付せんをぺたりと押さえた指先に、明日の自分が少しだけ強くなるのを感じた。



(1) ぼくが胸に「ちくり」と感じたのはなぜですか。本文にもとづいて二十五字以内で書きなさい。

(2) 次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 先生が砂時計をひっくり返し、約束は「言葉と時間」と話す。
- ② 虫めがねを拭くのに夢中で、図書室への集合に遅れる。
- ③ 祖母に四時半に着くと電話で伝える。
- ④ 図書室で終わりの時刻を決め、ミナミと掲示を貼る。

↓

↓

↓

(3) 本文の言葉を用いて、次の文の()をうめなさい。

「約束は言葉と時間でできている。軽いのは言葉、重いのは() ()だよ。」

(4) 次の語群から、本文にある音・手ざわりを表す語を二つだけ選び、○で囲みなさい。

【語群】

しそしそ ぴかっと さらさら ぱたりと

(5) ぼくが約束の扱い方を改めた行動を、本文中の言葉で二つ書きぬきなさい。

① _____

② _____

(6) 『すぐ』は人によってちがう」とあります。本文の考えに最も近いものを一つ選びなさい。

- ① だれにとっても「すぐ」は一分のことだ。
- ② 人によって感じ方が違うので、先に時刻を共有する必要がある。
- ③ ミナミは遅れても怒らないから問題ない。

答え () ()

(7) 本文の語句を用いて、次の文を完成させなさい。

「約束をするときは、() ()をいっしょに想像し、無理だと分かったら() ()を決めてから『うん』と()と()をいっしょに言う。」

(1) ぼくが胸に「ちくり」と感じたのはなぜですか。本文にもとづいて二十五字以内で書きなさい。

遅れてミナミの時間をけずったと気づいたため

(2) 次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 先生が砂時計をひっくり返し、約束は「言葉と時間」と話す。
- ② 虫めがねを拭くのに夢中で、図書室への集合に遅れる。
- ③ 祖母に四時半に着くと電話で伝える。
- ④ 図書室で終わりの時刻を決め、ミナミと掲示を貼る。



(3) 本文の言葉を用いて、次の文の()をうめなさい。

「約束は言葉と時間でできている。軽いのは言葉、重いのは() **相手の中の時間** ()だよ。」

(4) 次の語群から、本文にある音・手ざわりを表す語を二つだけ選び、○で囲みなさい。

【語群】

「しそしそ **ぴかっ**と **はらはら** ぱたりと

(5) ぼくが約束の扱い方を改めた行動を、本文中の言葉で二つ書きぬきなさい。

① 祖母へ電話をかけ「四時半に着くね」と伝えた

② 図書室で終わりの時刻を決め、役割を分けた

(6) 『すぐ』は人によってちがう」とあります。本文の考えに最も近いものを一つ選びなさい。

- ① だれにとっても「すぐ」は一分のことだ。
- ② 人によって感じ方が違うので、先に時刻を共有する必要がある。
- ③ ミナミは遅れても怒らないから問題ない。

答え () ② ()

(7) 本文の語句を用いて、次の文を完成させなさい。

「約束をするときは、() **相手の時間** ()をいっしょに想像し、無理だと分かったら

() **早く伝える** () () **時間** ()を決めてから『しそ』と『ぱたり』と書く。